

あの人を
愛したから、
その神様に
出会えました。

キネマの神様

松竹映画100周年記念作品

沢田研二 菅田将晖

永野芽都 野田洋次郎 / リリー・フランキー 前田旺志郎 志尊淳

松尾貴史 広岡由里子 北山雅康 原田泰造 片桐はいり

迫田孝也 近藤公園 豊原江理佳 渋谷天笑 渋谷清彦 松野太紀 曾我廼家寛太郎

北川景子 寺島しのぶ 小林稔侍 宮本信子

原作：原田マハ「キネマの神様」(文春文庫刊) 脚本：山田洋次 朝原雄三

音楽：岩代太郎 VFX監督：山崎貴

撮影：近森真史 美術：西村貴志 照明：土山正人 編集：石島一秀 録音：長村翔大 プロデューサー：房俊介 阿部雅人

監督：山田洋次

配給：松竹株式会社 ©2021「キネマの神様」製作委員会

8.6
ROADSHOW

何度だって奇跡を起こそう。
この物語を届けるために。

2020年3月1日にクランクインし、ちょうど半分を撮り終えた3月末。
ダブル主演の1人である志村けんさんを失い、
4月には撮影の長期中断を余儀なくされました。
度重なる困難に直面し、映画完成への道のりは途絶えかけましたが、
「一人でも多くの人に、この物語を届けたい。」
その想いを胸に、一歩ずつ前に進み、ようやく完成することができました。
『キネマの神様』は奇跡の連続で完成した映画です。
ぜひこの奇跡の物語を劇場でご覧ください。

この作品を待っていたすべての人と
“キネマの神様”に感謝を込めて。

これは“映画の神様”を信じ続けた男と その家族に起こる奇跡の物語

ギャンブル漬けで借金まみれのゴウ(沢田研二)は妻の淑子(宮本信子)と娘の歩(寺島しのぶ)にも見放されたダメ親父。
そんな彼にも、たった一つだけ愛してやまないものがあった。それは「映画」——。
行きつけの名画座の館主・テラシン(小林稔待)とゴウは、かつて撮影所で働く仲間だった。

若き日のゴウ(菅田将暉)は助監督として、映写技師のテラシン(野田洋次郎)をはじめ、
時代を代表する名監督やスター女優の園子(北川景子)、
また撮影所近くの食堂の娘・淑子(永野芽郁)に囲まれながら夢を追い求め、
青春を駆け抜けていた。
しかしゴウは初監督作品『キネマの神様』の撮影初日に転落事故で大怪我をし、
その作品は幻となってしまふ。

半世紀後の2020年。あの日の『キネマの神様』の脚本が出てきたことで、
ゴウの中で止まっていた夢が再び動き始める——。

